

令和4年度 南小学校評価報告書

令和4年度の学校関係者評価の結果を下記のとおりまとめました。特に、本年度の学校評価に対する意見については、令和5年度の学校経営、学校運営等に生かしていただくよう要望いたします。

令和5年 2月22日
南小学校学校運営協議会
会長 高木 かおる

記

学校自己評価及び学校関係者評価の結果

項目	評価内容・評価規準	学校の自己評価（学校職員）				学校関係者評価（学校運営協議会委員）	
		○記入人数	割合	評価人数	評価点	評定	本年度の学校評価に対する意見等
教育基盤	1 本校の教育基盤である「学校の教育目標」「めざす児童像・学校像・教師像」の啓発 ○ 学校の教育目標やめざす児童像・学校像・教師像を学級経営の基盤にして、学習指導や生活指導等を行う。				3.8	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な目標を定め、指導への手立てを工夫して実践し、適切な教育活動が実施できている。 ○ 厳しい労働環境の中で真摯に実践に取り組んでいただいている。 ○ 職員の自己評価も高く、全職員が学校の教育目標を意識して学校経営・学級経営が行われていると感じる。 ○ 教育目標をほとんどの先生方が同じ方向性に向かっていることはすばらしいことだと感じる。 ● 各重点目標に対して、大きなストレスを感じないように働き方改革の実践をお願いしたい。 ● 教育基盤への共通理解にはミーティング等で自由に意見交換できる環境づくりが求められる。
	① 学校の教育目標やめざす児童像・学校像・教師像を踏まえた学年・学級経営方針を立てている。	21	100%	A 18			
	② 上記の学年・学級経営方針に基づいた学習指導、生活指導の努力事項を設定している。	20	95%	B 1			
	③ 上記の努力事項に基づいた具体的指導を実践している。	19	90%	C 2			
	④ 上記の具体的指導に基づき、評価を行い、改善に努めている。	18	90%	D 0			
授業力の向上・確かな学力の育成（知）	2 基本的な学習態度・学習習慣の形成及び環境の充実 ○ 基礎・基本的事項の定着や読書活動の推進、家庭学習の充実を通じ学力の向上を目指す。				3.5	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の役割は十分に果たしている。 ○ 家庭学習と学校での学びを連動させて学びの質を高めていくことはとても大切なことだと考える。 ○ 家庭学習のしおりの活用等、保護者が何をさせればよいのかめやすが示されており効果が期待できる取り組みである。 ● 家庭学習が形式的な学びになっていないかや本当に効果があるのかといった新しい視点でチェックし、実のある学習に改善されていくと良いと考える。 ● 読書する子供たちの読解力がどんな感じか気になる。 ● 一人一人への家庭学習への取組は、その家庭の背景をよく考えて行う必要があると思う。 ● 家庭教育に「差」があることを前提にただ一人取り残さない取組の模索をお願いしたい。 ● 全ての家庭が取り組める目標の設定が必要。 ● 家庭学習は、各家庭が差が出ないように取り組んでほしい。
	① 話す・聞く・読む・書くなどの基本的な学習態度の内容を明確にしている。	20	95%	A 14			
	② 上記の内容を明確にした上で、学習指導時に一人一人に応じた指導を行っている。	18	86%	B 4			
	③ 読書に親しむ機会や読書量の充実について手立てを講じている。	15	83%	C 2			
	④ 家庭での学習習慣の定着に向けて指導の手立てを講じ、見届けを行っている。	13	72%	D 1			
3 基礎学力を向上させる指導の工夫 ○ 授業の改善・充実、課題やプリント学習の工夫、繰り返し（ドリル）学習、ICT機器の活用等を通して基礎学力の向上に努める。				3.7	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレット持ち帰りによる課題等の取組等、新しい学びのスタイルに合わせて対応されている様子が伝わってきた。学校から配信される家庭向け文書等、GIGAスクール構想の趣旨や期待される効果等も伝えられ、細かい配慮のもと実践されている。 ● テスト結果も大事ですが個別のステップアップが大切だと思う。平均化することで見えにくくなる学力の伸びが個別課題の明確化で確かな学力につながると思う。 ● 課題については、各学年、各担任で統一されていないように感じる。 ● ICT機器を活用する授業は先生も大変だと思う。更なるスキル向上をお願いしたい。 ● パソコン検索で漢字をすぐに調べることができるが、辞書を開いて漢字の意味などを調べる学習を取り入れてほしい。 	
	① 担当学年、担当教科等の基礎・基本の学力を明確にしている。	21	100%				A 17
	② 学習課題やプリント学習の工夫、繰り返し（ドリル）学習、ICT機器の活用等を実施している。	20	100%				B 2
	③ 上記の手立てに基づき、変容や指導の効果の把握に努めている。	15	79%				C 2
	④ 上記の指導の効果の把握に基づき、学習指導の改善に努めている。	17	89%				D 0

学校自己評価及び学校関係者評価の結果

項目	評価内容・評価基準	学校の自己評価（学校職員）					学校関係者評価（学校運営協議会委員）	
		○記入人数	割合	評価人数	評価点	分析・考察 □：評価点 ◎：成果 ●：課題	評定	本年度の学校評価に対する意見等
豊かな心の育成 (徳)	4 積極的な生徒指導 ○ 学校生活の様々な場面において、適切な生徒指導を行う。							
	① 生徒指導の3つの機能（自己存在感、自己決定、共感的理解）を生かした学習指導が展開できている。	18	90%	A 15	3.5	<input type="checkbox"/> 平均得点は3.5で、よい評価である。 <input checked="" type="checkbox"/> 児童理解に関し、毎月会を開き、全職員で情報共有を行い対応することができた。いじめ・問題行動の発生件数は件で、迅速な対応で解消することができた。 ● 新型コロナウイルス感染症予防のため、異学年交流の清掃や班での活動、話し合い等を制限しているため良好な人間関係作りを目指すのが難しかった。	A	○ 不登校児童の実数だけではなくその裏で先生方が関わっている物理的時間やそれ以外の心理的負担を考えると誠実に対応していただいていると考える。 ● マスク着用については、統一した方針を示すことが重要。家庭の判断には委ねられない教育的配慮（学校における）を具体化し、安心してマスクを着脱できるようにしたい。 ● 対人スキル等は、集団生活の中で学ばれるものである。触れる・会話する・大きな口で笑うこと等が大きく制限される中で、特に1年生、2年生にとっては影響も大きかったのではないかと危惧している。 ● どんな発言・行動がいじめと感じられるか、不登校につながるように体験発表等も含めて、子供たちへの指導をお願いしたい。 ● いろいろな場面での一人一人の子供への早期発見・早期対応が必要だと思う。
	② 「時を守り、場を清め、礼を正す」の率先垂範と見届け指導の充実が図られている。	14	70%	B 3				
	③ 月別目標に基づき、各学年の実態に応じた具体的な指導が行われている。	15	79%	C 3				
④ いじめ、不登校、問題行動等に対し、早期発見、早期対応に努めている。	21	95%	D 1					
豊かな心の育成 (徳)	5 福祉教育・体験活動の充実及び潤いのある教育環境づくり ○ ボランティア活動や体験活動、清掃時間等の指導の充実を図る。							
	① ボランティア活動や清掃指導等に児童と一緒に取り組んでいる。	20	91%	A 17	3.7	<input type="checkbox"/> 平均得点は3.7で、よい評価である。 <input checked="" type="checkbox"/> 6年生が中心になって行ってきた朝のボランティア活動が全校に広がった。全学年で落ち葉集めや草抜き、花壇の手入れをよく行っている。 また、今年度も栽培担当が中心になり一人一鉢運動を継続して行うことができている。 ● 農業体験活動に関しては、支援者の高齢化に伴い今年度は実施を見送った。今後は、新しい取組を模索していく。	A	○ 6年生が中心となってボランティアが広がっていったのはすごく良いことだと思う。次の学年が引継ぎ次々といろいろなボランティアを経験できれば子供たちの意識も変わってくるのではと思う。 ○ 目に見えるボランティア活動が広がっていくことはとてもうれしいことだと思う。一方で、目立たなくても、誰からも気付かれなくても活動をしている子供の存在を認め、そっと声をかけていく、そんな活動も大切にしたい。児童だけでなく（職員も含めて）、1日誰かのために必ず1回は行動する等の取組もボランティアにつながる実践力を育てていこうと考える。 ● 地域社会との連携は、今後困難を極めてくるのが予見される。学校運営協議会やPTAと新たな体験活動の模索が求められていると思う。 ● ボランティア活動・清掃についても、学校だけでなく家に帰って自宅周辺のゴミ拾い等、積極的にできるようになればと思う。
	② 学校行事や体験活動の充実・改善に努めている。	17	85%	B 4				
	③ 清掃の仕方や清掃用具の使い方、後始末の仕方について指導し、校内や教室内の整理整頓、不要物処理など環境整備に努めている。	21	95%	C 1				
④ 児童の安全面に配慮し、環境整備の充実・改善に努めている。	22	100%	D 0					
豊かな心の育成 (徳)	6 感性豊かな人権感覚の醸成及び道徳教育の充実 ○ 児童一人一人に気を配り、人権教育や心の教育を計画的に行う。							
	① 望ましい人間関係の醸成を図るため、日常的に児童の言動に気を付けている。	22	100%	A 19	3.8	<input type="checkbox"/> 平均得点は3.8で、よい評価である。 <input checked="" type="checkbox"/> 人権教育については、人権週間を設けたり人権かるたを作成したりして人権尊重に関する知識や価値観を高めることができた。 ● 日頃より児童の言動に気を配り、声かけや指導を行い、継続した人権教育を展開していく。	A	○ 人権週間を設けたり人権かるたを作成したりして意識の向上に努めているところがすばらしい。何よりも先生方が、児童一人一人の言動に気を付け、指導されていることが児童の人権意識を高めていることにつながっている。 ○ 学級や学年、学校の雰囲気はその学校にいる先生方の人権感覚が現れるものだと考える。これからも一人一人の先生方の人権感覚をよりよいものに高めていってほしい。 ● いじめは予防する観点も大事ですが、いじめから子供たちが、保護者が、教師が、学校が学ぶことも大切である。いじめから何を学ぶのか。トラブルは解決を図るといふより、どうやったら解消に向かうのかと共に考える人間関係の形成が大事だと思う。 ● 子供たちの言葉遣いがいじめにつながらないか心配している。引き続き気配りをお願いしたい。 ● 心の教育、大変難しい教育だと思う。児童一人一人がどのように受け止め、どのように伝えるのかこの時代だからこそ取り入れてほしい教育だと思う。
	② 望ましい人間関係の醸成を図るため、授業で具体的な指導をしている。	18	95%	B 2				
	③ 人権教育計画、道徳科の年間指導計画を作成し、計画的に指導している。	16	89%	C 0				
④ 道徳科や学級活動の指導において人権教育に関わる指導を確実に実践している。	16	89%	D 1					

学校自己評価及び学校関係者評価の結果

項目	評価内容・評価規準	学校の自己評価（学校職員）				学校関係者評価（学校運営協議会委員）		
		○記入数	割合	評価人数	評価点	分析・考察 □：評価点 ◎：成果 ●：課題	評定	本年度の学校評価に対する意見等
健やかな体の育成（体）	7 食育の推進 ○ 給食時間のマナー指導や食に関する指導を積極的に行う。					□ 平均得点は3.6で、よい評価である。 ◎ 新型コロナウイルス感染症予防を徹底しながら給食当番指導や給食のマナー指導を行った。今後も指導を継続していく。 ● 給食後の全校での菌みがきは感染症予防の視点から現在停止し、希望による個人での菌みがきを行っている。今後、再開ができるか検討中である。	A	● コロナ禍で黙食が慣行となつていますが、ポストコロナを見据え食育は食に対する動機付けとして共食の時である「給食時間」を食べるだけの時間ではなく、食材や調理法に対する興味関心に繋げる取組も必要だと思う。 ● 楽しい時間としての給食時間が早く実現すると思う。 ● 今年度は農業体験がありませんでしたが、この事業も食育に関することだと思うので、ぜひ再開できればと考える。
	① 給食時間の流れに沿って、給食当番の準備や後片付けの指導をしている。	22	100%	A 17	3.6			
	② 給食指導計画に沿って、食事の習慣やマナー等、実態に応じた指導をしている。	20	95%	B 2				
	③ 学級活動や給食指導、弁当の日を通して、栄養面や食文化など食に関する指導をしている。	16	80%	C 3				
	④ 食に関する指導の授業を実施している。	13	81%	D 0				
健やかな体の育成（体）	8 保健指導・安全教育の推進 ○ 健康観察や保健指導、避難訓練等を通して、児童の健康で安全な生活に必要な習慣や態度を養う。					□ 平均得点は3.8で、よい評価である。 ◎ 新型コロナウイルス感染症予防のマスク着用や手指の消毒、児童がよく触れる場所の消毒など、職員で協力し感染予防に努めた。 ◎ 養護教諭による菌磨き指導や性に関する指導、学校保健委員会の充実を図ることができた。 ● むし菌の治療率が、少しではあるが上がった。今後も継続して保護者への呼びかけを行いたい。	A	○ 養護教諭が積極的に保健指導に関わっていることがすばらしい。養護教諭と学級担任の連携がうまくいっているからだと思う。 ○ 細かい配慮のもと児童と職員相互の保健対策がとられていると考える。 ○ 家庭との連携を図って取り組んでいる成果が虫歯の治療率向上に繋がっていると思う。 ● 病院には、必要に応じて受診する体験を積むことは、自分自身を大切に感情（自尊感情、セルフプレジャー）の涵養となるものと思う。 ● 以前より立腰の姿を見るのが少なくなったように思う。
	① 児童の健康状態の把握に努めている。（朝の健康観察、授業中の観察など）	21	100%	A 18	3.8			
	② 児童の健康・安全面について指導をしている。（服装、立腰、安全な行動など）	20	95%	B 2				
	③ 保健指導や避難訓練等について、年間指導計画を作成し、実施している。	18	95%	C 1				
	④ 児童の健康・安全面について、養護教諭、関係教諭とともに、家庭との連携を図っている。	19	90%	D 0				
健やかな体の育成（体）	9 体力づくりの実践・運動の日常化 ○ 体力向上プランを活用し、効果的な体育の授業や体育的行事の工夫・改善を行う。					□ 平均得点は3.4で、よい評価である。 ◎ 体育の時間の始めにサーキットトレーニングを取り入れ総合的な体力の向上を図った。 ● 体育学習の制限や昼休み時間の短縮、遊びの制限による児童の運動不足や体力の低下を感じるという報告があった。今後、家庭でもできる運動例カード等を作成し、活用していきたい。	A	● コロナ禍で体力づくりを図ることが困難でした。家庭でも「できる」では、車社会が都会以上に顕著な形で表出している都市において、30分程度の距離なら健康のために、親子関係づくりのために歩いてみる等の推進を図ってみるのもよいと思う。 ● 運動の機会が大きく減ってしまい児童の体力低下が危惧される。 ● 「自分の命は自分で守る」という視点からも自宅学習の一環として運動の習慣化を目指すというのではなか。 ● 家に帰ってもゲーム・スマホで運動する時間はないと思われる。帰ってから少しでも運動する習慣があればと思う。
	① 体育の授業で、基礎体力を付けるための運動を実施している。	16	94%	A 12	3.4			
	② 体育の授業、体育的行事を日常指導と関連付け、基礎体力向上に計画的に取り組んでいる。	13	76%	B 4				
	③ 体育学習カードやがんばりカードを活用し、個々の実態に応じた体力向上に取り組んでいる。	12	71%	C 3				
	④ 昼休み時間に外遊びを勧め、日常的に体を動かす習慣が身に付くようにしている。	14	78%	D 1				
地域に根ざした開かれた学校づくり	10 学校と保護者・地域社会との連携 ○ 学校や学年のPTA活動、奉仕活動等に積極的に参加することができている。					□ 平均得点は2.8で、やや低い評価である。 ◎ PTA活動への積極的な参加の呼びかけは、学校通信や学校ホームページ、学校連絡メール等を活用して効果的に行うことができた。 ● PTA活動については、新型コロナウイルス感染症予防のための中止や延期があり参加が難しかった。	A	○ PTA活動においては、今年度より少しずつであるが活動再開しており、学校側の協力がなくなるといけない事であった。 ○ 学校全体として、伝統的な地域の行事への参加や係りについては制限されている中で「やれることは十分やっている」そんな感想を持っている。 ○ 新型コロナウイルス感染症のため、いろいろな活動に制限があったが、できることをできる範囲で工夫して行われたと感じる。 ● すべてがコロナ禍で停滞してしまいました。5類に引き上げられることを見据えたアフターコロナの取組をPTAや学校運営協議会としっかりと連携していきたい。 ● 地域社会との連携については、高齢化社会で次世代の担い手がおらず、今後のかわり方を学校と連携して模索していきたい。 ● 社会的な動きからくる職員への負担軽減という側面をもとに市教委から保護者への啓発文書があると学校の立場として動きやすいと考える。 ● 地域事業については、新型コロナウイルス感染症予防の関係で六月灯、祭りなどの中止を決断した。来年度は事業開催に伴い参加をお願いしたい。 ● 保護者の公民館加入世帯が非常に低い。今後の公民館存続を含めて心配である。 ● 中止や延期が続く中でも実施できるPTA活動をもっと考えてもよいかもしれない。
	① 学校のPTA活動への参加を促し、自らも積極的に参加している。	12	67%	A 9	2.8			
	② 学年や学級のPTA活動への参加を奨励し、自らも積極的に参加している。	9	56%	B 2				
	③ 奉仕活動への参加を奨励し、自らも積極的に参加している。	8	62%	C 3				
	④ 地域の活動への参加を奨励し、自らも積極的に協力している。	7	50%	D 5				

学校自己評価及び学校関係者評価の結果

項目	評価内容・評価規準	学校の自己評価（学校職員）				学校関係者評価（学校運営協議会委員）		
		○記入数	割合	評価人数	評価点	分析・考察 □：評価点 ◎：成果 ●課題	評定	本年度の学校評価に対する意見等
地域に根ざした開かれた学校づくり	1 1 情報の積極的な発信と連携の推進 ○ 学校行事や児童の様子を積極的に保護者や地域に発信し、連携を図る。					3.5 □ 平均得点は3.5で、よい評価である。 ◎ 南小ホームページの更新が充実し、日々の学校や児童の様子を発信できた。現在、190000以上のアクセスがある。 ● 現在、家庭訪問をすることが難しい状況であるので、電話や連絡帳を通しての連絡を中心としている。	A	○ 日常的にホームページで学校の取組を発信していくことは大変だと思いますが、保護者や地域の人たちにとってはうれしいことである。 ○ コロナ禍で学校の情報を入手することが難しい中、ホームページの充実には保護者も大いに助かったと思う。 ● 通信アプリやHPなどの活用は目覚ましいものがあります。一方で、一方通行な発信となりがちであり、より対面の時も重視した取組も求められると考える。（地域公開型の授業参観など） ● 民生児童委員が毎朝登校時の見守りをしている。学校通信「みなみ」を配布しているが、急な行事変更等ある場合の民生委員への連絡方法を検討してほしい。
	① 学校通信や学級通信、HP等を定期的、計画的に発信している。	16	84%	A 14				
	② 学校通信や学級通信、HP等で、児童の生活や学習の様子や状況を発信している。	17	85%	B 3				
	③ 電話連絡や面談等により、家庭との連携を密に図っている。	18	90%	C 1				
	④ 参観授業や学級懇談を工夫し、情報を積極的に発信している。	14	78%	D 2				
教育課程の確実な実施・評価	1 2 教育課程の確実な実施による教育活動の向上 ○ 教育課程の確実な実施により、教育活動の向上を図る。					3.7 □ 平均得点は3.7で、よい評価である。 ◎ 評価のための評価にならないよう、そして、確実な評価による計画改善になるよう、行事の後や各学期に評価を行った。次年度の改善策まで検討することができ、次年度の計画に生かしている。 ● 新型コロナウイルス感染症の影響で、計画を変更したり中止したりすることが続いている。どのような状況にも対応できるように、複数の計画を準備したい。	A	● 教育課程が確実に実施できていない事項があるとしたら、5W1Hを踏まえ、学校の中での自由に意見を交換できる場も必要だと思う。 ● 本当に必要なものは何かを検討し削ろうと思ったら削ったり統合できるものは統合したりして、時間短縮を目指すなどができるかと先生方の負担軽減にもつながると考える。 ● 計画したことについては、ウィズコロナの視点で単に中止で終わらせないように検討してほしい。
	① 教育課程に基づいて、学習指導、生徒指導、学校行事等を適切に計画している。（Plan）	20	95%	A 18				
	② 教育課程に基づいて、学習指導、生徒指導、学校行事等を適切に実施している。（Do）	20	95%	B 1				
	③ 教育課程に基づいて、学習指導、生徒指導、学校行事等を適切に評価している。（Check）	18	90%	C 1				
	④ 教育課程に基づいて、学習指導、生徒指導、学校行事等を適切に改善している。（Action）	16	84%	D 1				
教育活動の工夫・改善と教育内容の充実	1 3 教育活動の工夫・改善と教育内容の充実 ○ 教育活動の工夫・改善を進め、教育内容の充実を図る。					3.9 □ 平均得点は3.9で、よい評価である。 ◎ Google for Education事例校を目指したICT活用のモデル校としての実践を積み重ねることができた。 ◎ 新型コロナ禍において、教育活動の工夫・改善を行い、実施し保護者からも高い評価を得ることができた。 ● 次年度からもGIGAスクールに対する研修や実践の充実を図りたい。	A	○ 積極的なICT化、GIGAスクールへの取組は県内でも高い評価を得ており、その働きに感服している。 ○ 全ての教師が同じスタートを切るというのは、ICTへの理解も含め、個別に丁寧な対応も求められていると思う。 ○ どの学年も積極的にタブレットが活用されており、学びのツールとして浸透している様子が伝わってきた。
	① 教材研究や教材作成を工夫し、授業や指導の充実を図っている。※ICT機器の活用を含む。	22	100%	A 21				
	② 実態把握や児童理解を工夫し、生徒指導や心の教育の充実を図っている。	21	95%	B 0				
	③ 校務部や担当の取組の工夫・改善を進め、教育活動の充実を図っている。	21	95%	C 0				
	④ 校務部や担当の取組の評価を確実にし、教育活動の工夫・改善を進めている。	20	95%	D 1				